



平成 28 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 柿本 敏男
(コード番号 2531 東証 第1部)
問 合 せ 先 IR部長 掛見 卓也
T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

孫会社の異動に関するお知らせ

当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社は、平成 28 年 12 月 15 日開催の取締役会において、同社の 100%子会社である Takara Bio USA Holdings Inc.社が Rubicon Genomics, Inc.社の株式を取得し子会社化することについて買収合意書を締結することを決議し、同契約を締結しましたので、お知らせします。本契約により、Rubicon Genomics, Inc.社は当社の特定子会社となる見込みです。詳細につきましてはタカラバイオ株式会社が本日発表した「Rubicon Genomics, Inc.の株式取得(子会社化)に係る買収合意書締結に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本件の当期連結業績に与える影響は軽微となる見通しですが、他の要因等も含めて精査し、業績予想の修正の必要がある場合には、速やかにお知らせいたします。

(添付)タカラバイオ株式会社の開示資料

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。



平成 28 年 12 月 15 日

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証 1 部)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 3 8 号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	専務取締役 松崎 修一郎
TEL	(077) 565-6970
URL	http://www.takara-bio.co.jp/

Rubicon Genomics, Inc. の株式取得 (子会社化) に係る 買収合意書締結に関するお知らせ

タカラバイオ株式会社は平成 28 年 12 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり、当社の 100%子会社である Takara Bio USA Holdings Inc. 社 (TBUSH 社) が Rubicon Genomics, Inc. 社 (Rubicon 社) の株式を取得し子会社化すること (本株式取得) について買収合意書 (Merger Agreement) を締結することを決議し、同契約を締結しましたので、下記の通りお知らせします。

1. 株式取得の理由

当社グループでは近年利用が盛んな次世代シーケンサー用試薬キットの開発に注力しており、特に Clontech ブランド製品では、独自技術である SMART[®] 技術を用いた超微量 RNA サンプル解析用調製試薬キットを提供しています。

一方、Rubicon 社は、独自の超微量 DNA サンプル解析用調製技術を有しており、同技術を用いた次世代シーケンス解析用試薬キットを提供しています。

買収後は、Rubicon 社と当社グループの持つ超微量核酸サンプル解析調製技術、さらに平成 29 年 3 月に買収予定である WaferGen Bio-systems, Inc. (注 1) の次世代シーケンス解析用前処理システム (装置) が補完的に組み合わせることにより、超微量核酸サンプル解析領域でより幅広い製品・サービスを提供することが可能となり、高い相乗効果を期待しています。

(注 1) 平成 28 年 5 月 13 日に開示しております「WaferGen Bio-systems, Inc. の株式取得 (子会社化) に係る買収合意書締結に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	Rubicon Genomics, Inc. (注 2)
(2) 所在地	4743 Venture Drive, Ann Arbor, MI 48108 United States
(3) 代表者の役職・氏名	Dr. Jim Koziarz, CEO
(4) 事業内容	研究用試薬の製造・販売
(5) 資本金	13,249 千ドル (1,525 百万円) (平成 27 年 12 月 31 日現在) (注 3)
(6) 設立年月	平成 12 年 4 月
(7) 大株主及び持ち株比率	Koziarz, James (18.95%) Duchossois TECnology Partners, LLC (13.17%) ARCH Development Fund I, L.P. (9.44%) (注 4)

(8) 上場会社と当該会社との関係	記載すべき当該事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3か年の連結経営成績及び連結財政状態 (注3)			
決算期	平成27年12月期	平成26年12月期	平成25年12月期
連結純資産	▲447千ドル (▲51百万円)	▲1,802千ドル (▲207百万円)	▲2,029千ドル (▲233百万円)
連結総資産	4,338千ドル (499百万円)	2,381千ドル (274百万円)	1,460千ドル (168百万円)
連結売上高	8,346千ドル (961百万円)	5,957千ドル (686百万円)	4,822千ドル (555百万円)
連結営業利益	1,460千ドル (168百万円)	321千ドル (37百万円)	730千ドル (84百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,354千ドル (155百万円)	194千ドル (22百万円)	536千ドル (61百万円)
1株当たり配当金	-	-	-

(注2) Rubicon Genomics, Inc.の資本金額が当社の資本金額の100分の10以上に相当するため、株式取得後に同社は当社の特定子会社に該当する見込みです。

(注3) 1ドルは115.17円(平成28年12月14日時点)で換算しております。

(注4) 上位3位株主の情報を記載しております。

3. 株式取得の主要な相手先の概要

(Koziaz, James)

(1) 氏名	Koziarz, James
(2) 住所	米国
(3) 上場会社と当該個人との関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

(Duchossois TECnology Partners, LLC)

(1) 名称	Duchossois TECnology Partners, LLC	
(2) 所在地	米国	
(3) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	記載すべき事項はありません。
	上場会社と業務執行組合員との間の関係	記載すべき事項はありません。
	上場会社と国内代理人との間の関係	記載すべき事項はありません。

(ARCH Development Fund I, L.P.)

(1) 名称	ARCH Development Fund I, L.P.	
(2) 所在地	米国	
(3) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	記載すべき事項はありません。
	上場会社と業務執行組合員との間の関係	記載すべき事項はありません。
	上場会社と国内代理人との間の関係	記載すべき事項はありません。

4. 株式取得数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	なし
(2) 取得株式数	23,006,790 株
(3) 取得価額	株式取得の対価に加え、ネット有利子負債を含む買収対価の総額として 75 百万米ドルをクロージング時に支払う予定です。また、取得対価は株式譲渡契約に定める株式取得実行時の価格調整を実施した金額となる予定です。
(4) 異動後の取得株数	23,006,790 株 (議決権所有割合：100.0%)

5. 日程

(1) 契約締結日	平成 28 年 12 月 15 日
(2) クロージング見込み日	平成 29 年 1 月上旬頃

6. 今後の見通し

本件のクロージングは平成 29 年 1 月上旬を見込んでおります。本件の当社の当期連結業績に与える影響は軽微となる見通しですが、他の要因等も含めて精査し、平成 29 年 1 月 30 日に予定しております当社第 3 四半期決算発表にて公開する予定です。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

<参考資料>

1. TBUSH 社の概要

(1) 名称	Takara Bio USA Holdings, Inc.
(2) 所在地	1290 Terra Bella Avenue, Mountain View, California 94043, U. S. A.
(3) 代表者の役職・氏名	仲尾 功一
(4) 事業内容	子会社の管理
(5) 資本金	70,857 千ドル (8,160 百万円 ; 注3)
(6) 設立	平成 17 年 7 月

2. 当社の当期連結業績予想 (平成 28 年 1 1 月 1 0 日公表分) 及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 28 年 3 月期)	28,600	2,850	3,150	1,350
前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	29,729	2,667	3,301	1,334

3. 語句説明

次世代シーケンサー

従来のサンガー法を基にしたシーケンサーとは異なる原理に基づいた塩基配列解析装置で、数百から数億個の塩基配列データを並列に大量取得することができます。

SMART[®]技術

タカラバイオ USA 社が特許を保有する技術で、Switching Mechanism At 5' end of RNA Template の頭文字を取って SMART[®]法と呼んでいます。PCR アダプター配列を直接付加して完全長 cDNA 合成できるため感度が良く、超微量の核酸サンプルからの cDNA ライブラリー作製が可能です。